大人　きたえほめる

「校訓とともに」

じぶんから　みんなと　いっしょうけんめい

子ども　やればのびる

長崎市立外海黒崎小学校
令和４年度学校だより
令和４年７月１３日(水)
校長　溝　川　　浩

～夏まっさかりの7月～

朝、校長室の窓からは、強い朝日とセミの甲高い鳴き声がダブルで入ってまいります。夏の到来を早朝から強烈に感じる７月です。気が付けば登校日数もあとわずかとなりました。

現在も感染防止を緩めず、学ぶ環境を維持しながらの１学期教育活動が終わろうとしています。「やればのびる」の合言葉で校訓の実現を追い求めた３か月半は、コロナ感染０であり続けたこと、子どもたちや家族の皆様の努力に支えられたこと、また手前味噌ですが、何より本校職員全員が感染０で勤務し続けられたことを誇りに思え、実り多い期間であったと思います。

先日の台風４号の最接近では、大きな被害がなく何よりでしたが、今後の台風や大雨にも備え、PC の自宅持ち帰りと Wifi 利用の習慣化を図ってまいりますので、PC とノート・ドリルを両立させた夏休みの学習習慣のためにも、ご家庭でルール作りや環境づくりを進めていただくようお願いいたします。私もその経験者ですが、保護者にとって夏休みはある意味「試練」のシーズンです。平日昼間の子供の安全確保について、少し早いですが改めてお願い申し上げます。

１学期の登校もあと４日となりました。学び残しのない１学期終業に努めます。

卒業生やかつての保護者には思い出の色とは思いますが、多くの方からより愛される学校をめざし、アーチ門の傷をなおし色もリニューアルします。

学校施設改修のお知らせ

以前お伝えしましたが、左記のとおり学校の一部施設が夏休み中に改修されます。合併して６年目となる今年、在校生は皆入学時から外海黒崎小児童となります。ある意味で節目となる今年、旧黒崎東小の足跡を残しつつ、新しい学校づくりを進めてまいります。

今後さらに学校が愛され、卒業式や入学式などの記念写真に相応しい場所になれば幸いです。

完成を楽しみにしてください。

★改修箇所★

○アーチ門・歩道沿いブロック塀…補修、塗替え

○体育館…亀裂、腐食箇所の補修・補強

子育てを工夫する家庭の３つの法則
～ある塾経営者の発見から～

シリーズ最終３つ目の法則は「**親自身に矢印を向ける**」です。

子供の勉強ができないことや正しい生活習慣が身に付いていないことなどを、子供自身の責任にしてはいけません。もちろん本人自身に原因があることもあるとは思いますが、「なんでこんなことがわからんとね！」「まだ努力がたらんとさ！」「集中せんば！」などと叱っても、本人のモチベーションを下げてしまうだけです。スポーツやピアノなどの習い事でも同様です。

こういった場合、子育てを工夫する親は、口で指摘するのではなく、親自身に要因はないか改善点に目を向けます。

例えば、子供が集中して勉強（練習）できないのであれば、集中できない理由を考え（本人の努力が足りないという結論はNG）、それを取り除く方法を親自身が実行することが大切です。いろいろなところに目移りをしてしまう子（＝学年が下ほど多いです。だから教室の整理・整備は必要なのです。塾経営では必須です。）には、勉強をする机やテーブルの上をきれいに片づけたり、壁の雑念となる掲示物（漫画・アイドルのポスターなど）を撤去したりする必要があるかもしれません。また、教材が子供の習熟度に合っていないことが理由であることもあります。そんな場合は、教材の難易度や量を変えてあげることが必要です。子供の状況を分析し改善を図りましょう。

子育ては保護者の思い通りにはいかないものです。子供にプレッシャーをかけ焦らせても、親自身が焦っても良い結果は生まれません。心にゆとりを持って、子供と向き合いましょう。

★本校の授業が新聞に掲載されました★

先日本校で実施した防災教育の授業が長崎新聞に掲載されました。海と山に囲まれた本校と児童の住む地域にとっては不可欠な教育の一つ。裏面に載せましたのでご一読ください。※新聞社許可済み